福生三中だより

令和６年９月１４日発行　No.５
福生市立福生第三中学校

學校教育目標
１ よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
２ ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
３ 責任を果たし、みんなのために働く生徒
４ 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒
校訓　　礼節

「寛容さ」

校長　増木　一仁

８月28日より二学期がスタートしました。スタート早々、台風１０号の接近がありました。幸いにも本校の被害は雨漏りのみでしたが、他の地域ではさまざまな被害も出ており、被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

さて、二学期は一番長い学期であり、三中の二大行事である音楽会や３年生の修学旅行、２年生の職場体験など学年の重要な行事も多くあります。始業式では、学習をはじめ、行事、部活動など、失敗を恐れず様々な事に積極的に取り組み、挑戦してほしいという事を話しました。併せて、みんなが失敗を恐れず様々な事に積極的に取り組み、挑戦できる雰囲気を学校全体みんなで作っていこうという話もしました。

また、９月２日の朝礼では、防災の話をしました。９月１日は関東大震災が発生した日であるとともに台風シーズンを迎える時期でもあり、戦後最大の被害を被った 1959年９月の「伊勢湾台風」が契機となり 1960 年に地震や風水害等に対する心構え等を育成するために防災の日が制定されたという経緯と共に、私自身が経験した伊豆大島大噴火の全島民避難の具体例をもとに、「自助・共助・公助」の中でも特に共助という意識が重要であることを話しました。現在想定されている南海トラフ大地震をはじめとする災害では自分たちが住んでいる周りの広い地域が被災するため、周りからの助けもすぐには来ない。そのため、自分たちで協力してみんなで生き延びなくてはならない。わがままや自分の事だけ考えた行動では共助は成り立たない。８月30日の雨漏りの際に、朝、主事さんや先生方と一緒になって廊下にたまった水を片付けてくれた生徒がいたことも例に出し、自ら行動することの大切さも伝えました。

近年、先日のオリンピックでの選手への誹謗中傷をはじめとして、社会全体で「寛容さ」が失われつつあるように思います。

「失敗を恐れず様々な事に積極的に取り組み、挑戦できる」ためにも、「災害時みんなで協力して生き延びる」ためにも、「寛容さ」は大切だと思います。三中の生徒には「寛容さ」を大切にしてほしいと思います。

二学期も教職員一同、保護者、地域の皆さんと一緒に子供たちを育てていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

吹奏楽部

第６４回東京都中学校吹奏楽コンクール
Ｂ組【銅　賞】

銅賞おめでとう！

野球部

令和６年度第８ブロック夏季研修大会
【３位】
３位おめでとう！

家庭科部

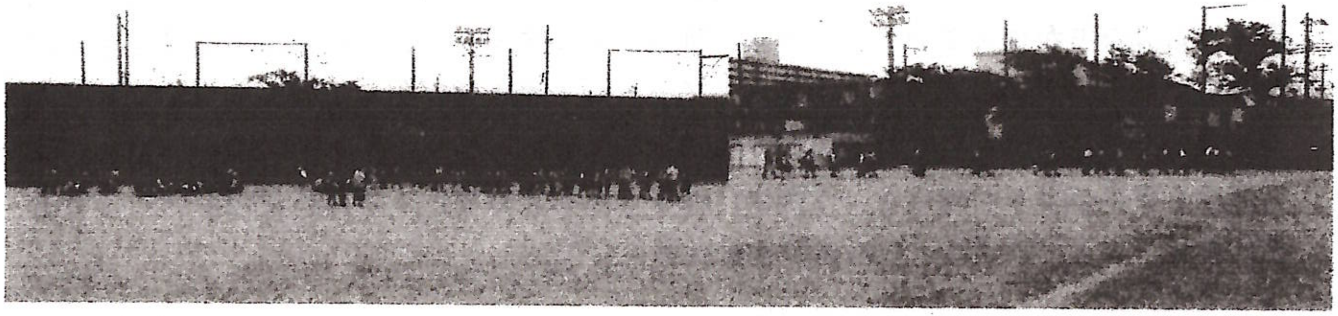
第２３回花いっぱいコンテスト
【優良賞】

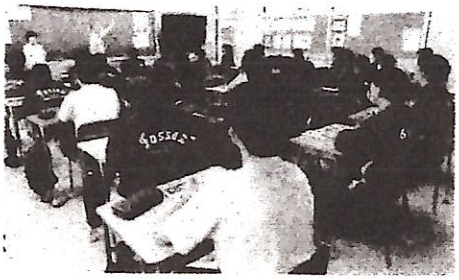
優良賞おめでとう！

英語検定

３級１１名合格
合格おめでとう！

８月２９日(水)に一斉下校訓練行い、地区班に分かれて一斉下校しました。



租税教室　３年 ８月 30 日(金)６校時、東京税理士会青梅支部税理士の方から租税について、

クイズを交えながら御講義いただきました。